

静岡大学

【N043 静岡大学】

	静岡大学 農学分野
学部等の教育研究 組織の名称	農学部（第1年次:150 第3年次:10） 大学院農学研究科（M:87） 大学院自然科学系教育部（D:50）
沿 革	昭和22（1947）年 静岡県立静岡農林専門学校設置 昭和25（1950）年 静岡県立静岡農科大学設置 昭和26（1951）年 静岡大学農学部設置 昭和45（1970）年 大学院農学研究科修士課程設置 平成18（2006）年 大学院自然科学系教育部博士課程設置
設置目的等	<p>昭和22年、静岡県立静岡農科大学の前身である静岡県立静岡農林専門学校は、農業及び林業に関する高等の教育を施し農山村振興に役立つ科学的農業人を養成することを目的として設置された。</p> <p>昭和25年、農林業に関する学術及びその応用について教授研究し併せて産業の発展に貢献することを目的として、静岡県立静岡農科大学が設置された。</p> <p>昭和26年、静岡県立静岡農科大学は国立に移管され、静岡大学農学部が設置された。</p> <p>昭和45年、地域産業を背景とした特色ある教育研究を通じて精深な学識を修め、専門分野における理論と応用の研究能力を有し農林業の近代化と発展を推進しうる人材の養成を目的として、農学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成18年、時代に即応した幅広い素養と特化した専門知識及び国際性豊かな知識を有する先端技術者及び研究者の養成を目的として、電子科学研究科博士課程（後期3年のみの課程）及び理工学研究科博士後期課程を改組し、自然科学系教育部博士課程（後期3年のみの課程）が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>静岡大学は、富士山から駿河湾に至る豊饒な風土を背景とする静岡県において、「農業生産技術の開発」、「生物機能の解明」、「森林を含む生物資源の利用」、「農林生態系と地域環境の保全」など、生物科学と環境科学を融合した農学を考究し、地域農林業と地域社会の発展を目指し教育、研究、社会貢献に取り組んでおり、以下の強み、特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ バイオサイエンスと環境に関する先端的な専門教育やフィールド</p>

ドを用いた多様な実践教育を展開し、未来を拓くことのできる国際性とチャレンジ精神を併せ持つ高度な専門人材育成の役割を果たす。

バイオサイエンス、環境・エネルギーの専門領域に関する深い知識と時代に対応した幅広い素養を有し、地域社会や国際社会の期待に応えられる高度先端技術者及び研究者の人材育成の役割を充実する。

- 農場、演習林及び国内外の農村などを利用した農業実地体験型及び課題探求開発型フィールド教育、実用面を強く意識した専門教育、グローバル農学人材の育成などの特色ある教育を進めてきた実績を生かし、課題探求能力と国際性を有し、農学分野の各方面で活躍できる技術者を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。
- 応用生物化学や植物科学をはじめとする高い研究実績と、地域農林業・地域産業のニーズに応えるための幅広い研究実績を生かし、地元産業界や国公立研究機関との共同研究や連携を推進し、我が国の農学及び関連産業の発展に寄与する。
- 農場・演習林が教育関係共同利用拠点に認定され、他大学や地域などとの連携と人材育成に寄与している。静岡県経済産業部や静岡市商工会議所などとの緊密な連携などを通して、地域社会に貢献してきた実績を生かし、静岡県をはじめとする周辺地域の農業・農村、関連産業の振興・発展に寄与する。
- 修士課程農業ビジネス起業人育成コースなどによる地域との連携・協力の実績を生かしながら、社会人教育を更に推進し、地域の農業や関連産業の活性化に寄与する。
- 高校生向け体験講座のニュートンチャレンジなどの実績を生かし、地域の高校生の理科教育に寄与する。